

そよ風



- 1 2015 年 年頭のあいさつ
- 2～3 東大和フェスタ
- 4 制作展
- 5 クリスマス会
- 6 第 41 回日本重症心身障害者福祉協会
東日本施設協議会に参加して
- 7 第 3 回テーマ別改善運動 (QC サークル活動)
- 院内報告会
- 8～9 療育活動
- 10 センターの果てまでイッテ Q
- 11 栄養科 ハロウィンレシピ
- 12 人事異動・編集後記

■ ■ 2015 年 年頭のあいさつ ■ ■

院長 倉田 清子

年頭に当たり、利用者及び御家族の皆様にご挨拶を申し上げます。

重症心身障害児（者）の施策につきましては、平成 24 年の児童福祉法改正、障害福祉サービスの報酬改定等が行われるなど、在宅重症児者の支援が大きなテーマとなっております。在宅の重症心身障害児（者）が、医療ケアを行いながら安心して地域生活を送ることができるよう、身近な地域のかかりつけ医を増やすことも重要です。当センターにおきましても、社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会が東京都より受託した「在宅医療ケア体制整備モデル事業」を推進するための院内プロジェクトチームを立ち上げ、尽力しているところです。これまでに、モデル地域内の地域中核病院や医師会との連絡会、医療スタッフ向け研修会などを開催しております。

今後も、当センターの長期入所、通所、短期入所等を一層充実させるとともに、職員一丸となって重症心身障害児（者）の在宅支援に取り組んで参ります。本年もよろしくお願い致します。

第 5 回 東大和療育センターフェスティバル

～音楽とふれあいのひと時を終えて～

第 2 病棟指導員 原島 勝

2014 年 10 月 18 日 (土) 10:00 ~ 15:30 第 5 回東大和療育センターフェスティバル (以下、東大和フェスタ) が晴天のもと開催されました。東大和フェスタは、日々の療育活動に加え、生活をより豊かにすること、生活経験の拡大をはかること、季節感を味わうこと、地域の人々との交流を深めることをねらいとした大行事の 1 つです。その内容は、毎年恒例のふれあい動物園、ステージでは、作品展、ネイルアート、マッサージ、写真館、ゲーム等に加え、今年からは、エアトランポリン、利用者さん御家族のマジックショーに加え、昨年より演奏会が充実しました (プログラム参照)。

It's Showtime

10:00-10:30	開会式 開会挨拶 全病棟長 開会挨拶 音楽部長
10:30-10:35	マジックショー 華麗なるマジックをお楽しみください
10:35-11:05	キアロ・サックスフォー・ホールディング おなじみ!いつも楽しい!家族にショータイム!
12:00-14:00	各病棟・通所での演奏会 ・サクソと電子ピアノ ・ワイオラ・チェロ
14:00-15:00	ジャズ・ブラスバンド・ガム 大学生のジャズオーケストラ

フェスティバルは
たくさんボランティアのみなさんに
支えていただいています。
ご協力いただいたみなさまに
心より感謝いたします。
ありがとうございます。



各企画運営部門から当日の様子を紹介して頂きます。

大空写真館では、「みんなで紙ヒコウキを飛ばしたら楽しそう」という発案で「トリックアートみたいな、遠近法を用いた写真館」になりました。今までにない写真館にしたいと床も作り、背景も 2 面を作り、利用者さんが乗った紙ヒコウキがこちらに向かってくるような素敵な写真館ができました。訪れる利用者さんや御家族が「わぁーすごい」と驚いたり喜んでくださったのがとても嬉しかったです。

ステージでは、サクソ四重奏、ジャズグループによる演奏が行われました。うさぎのぬいぐるみを着て案内を渡しましたが、皆さんにとっても喜んでもらい、とても多くの方に演奏を楽しんで頂きました。各セ



クションに昼食時・昼食後にサクソと電子ピアノ、ヴィオラとチェロの演奏者に演奏して頂き、一緒に歌う病棟もあり、楽しい時間を過ごすことができました。今回、初めて御家族の方にマジックをして頂き、驚きと感動のショーで大好評でした。

3つの縁日ゲームでは、ボールすくいはい低い位置と高い位置の2種類用意し、すくう網も柄の長い物を用意して、みんなができるようにしました。すくうボールはお土産にして感触を楽しんでもらいました。ピンボールは、ちょっと難しい操作もスタッフと一緒にクリアして、うれしそうに何度もチャレンジしていく子供達がありました。射的は2種類用意して、鉄砲が握れる人用と引き金に引っかけた紐を引っ張って弾を飛ばせるものを作りました。吸盤になった弾がピタッと的にくっついた時の“やったー！！”感がやみつきになり“もう一回”とリピーターが多く見られました。どうしたら簡単にちょっとした力でできるかを考え、スタッフみんなで盛り上げ縁日を利用者さん・御家族共に参加し、一緒に楽しんで頂きました。



ボッチャDEビンゴ&ラッキーフィッシングは、ボッチャによるビンゴゲームと磁石を使って行う魚釣りです。利用者さんにとっても参加しやすい内容だったようで、みなさん楽しそうに取り組まれています。大量に準備していたスライムとしおりの景品も全てお客様に渡す事ができ、良かったです。

ネイル・マッサージ・動物園（通所）では、ネイルは御希望の指を全てネイル装飾してくれて大好評で、お話も上手で楽しく素敵な一時となりました。マッサージは利用者さんはもちろん御家族にもたくさん受けて頂きました。みなさんのお疲れ具合？が伺え、癒しになったかと思えます。動物園は毎年大好評！で、色々な動物に触れます。終わって動物さんが帰る時にポニーさんは乗り込むのを嫌がり、ちょっとセンターを気に入ってくれたかな？

楽器作り（リハビリテーション科）では、楽器作りコーナーで嵐の曲でダンスをしてくれた小学5年生のグループがいました。前職員のミニコンサートでは、なじみ深い利用者さんがたくさんいらっやいました。来年もお楽しみ。



制作展 2014

リハビリテーション科作業療法士 柏山 むつ子

毎年 10 月から 11 月にかけて、センターのエントランスを華やかに飾っている制作展。今年もいろいろな作品を展示し、皆さんに見ていただくことができました。

制作展は入所、通所、外来利用者の自己表現の場として、またそれぞれの「出来る力」を知っていただきたいと、開設 3 年目から始めました。作品はリハビリテーション科グループ指導や心理・言語・作業療法の個別訓練の時間に制作したものです。今年は病棟とリハビリテーション科が協力して行っている、クラブ活動の時間を利用して



作った作品も展示しました。春は第 1 病棟のちぎり絵のお花、夏は第 2 病棟の花火の描画、秋は第 3 病棟の本物のレンコンやピーマン、オクラを使ったスタンプ、冬は第 4 病棟の雪だるまや雪ウサギのステンシル、と技法も工夫して、それぞれ雰囲気のある四季の良い作品になったと思います。

毎年、数々の作品の中でもたくさんのご意見をいただいて好評なのが、エントランス正面に展示している粘土を使った作品です。今年は駅弁とパンケーキ♡「牛肉ど真ん中が良かった」「どれも美味しそうで食べたくまりました」などの感想をいただきました。また、「作品のアイデアに感心します」「作品を見て明るい気持ちになりました！」など、嬉しくなる感想もたくさんいただきました。

作品の中には個別訓練で何年もかけて地道に作った作品もあります。根気のいる作業を利用者さんとゆっくりじっくり関わりながら、作品を仕上げます。長期に渡り一人の利用者さんと関わることができる、このセンターの良さであり、センターならではのことだなあとあらためて感じました。これからも利用者さんの気持ちに寄り添って、活動提供していこうと思います。



2014 クリスマス会を振り返って ～今年も元気でいこう！～

第1病棟指導員 難波 正弘



2014年12月、紅葉が終わり冬仕度のさなか、当センターのプレイルームに各セクションの実行委員数名が集められました。クリスマス会は8月の夏祭りと秋の東大和フェスタに続く大行事の一つですが、唯一他の2つとは異なり、日程も内容もセクションごとに独立して行われます。そのため、毎年実行委員を中心に、それぞれが工夫をこらしたオリジナリティあふれる企画を実施しています。

さて、我が第1病棟は？・・・「クリスマス会に〇〇を呼んで、踊りながらカードを渡したら盛り

り上がると思うよ」それは、S看護師の自信に満ちた一言で始まりました。その日から地道な努力や準備を重ね、ついに本番当日を迎えました。

オープニング・・・幕が開き、聖歌隊の登場です。毎月病棟で素敵な音楽会を開いてくださっている国立音楽大学OGでもある、音楽療法士さんの美しいピアノ生演奏にのせ、現役音大生の皆さんと第1病棟精鋭6名による夢のコラボがついに？実現しました。キャンドルサービスで温かい雰囲気にも包まれた後、スポットライトが司会席へ！映画「アナと雪の女王」から「アナ」と「オラフ」の登場です（衣装お見事！）。お約束のショートコントで笑いに包まれ、ピアノ生演奏を聴きながら歓談、贅沢な時間を過ごしました。毎年恒例のスライドショー「1年を振り返ろう」で涙腺がウルウルしたところで、ついに冒頭の〇〇登場です。あの情熱的な太鼓の音は？まさか・・・そうです！夏祭りでお世話になったあの方々、「サンタじゃなくて、まさかのサンバ隊登場だぁ！」

参加した親御さんやスタッフの笑顔、そして何より利用者の皆さんの表情に、日常では見られない大きな変化が生まれました。サンタさんやアナ、オラフ、弟子のタヌキ？も交え、皆で楽しく盛り上がりました。エンディング曲はもちろん、「レット・イット・ゴー」です。イントロが流れて再び幕が開き、大スクリーンに映し出されるクリスマスイルミネーションの数々、雪が舞い降りるなか、「スタッフより愛をこめて、メリークリスマス！そしてまた来年も・・・元気でいこうね♡」



■ ■ 第 41 回日本重症心身障害福祉協会 東日本施設協議会に参加して ■ ■

看護部長 桑原 光代

2014 年 11 月 6 日・7 日、千葉県ホテルグリーンタワー幕張にて、第 41 回日本重症心身障害福祉協会東日本施設協議会が開催されました。当センターからは、倉田院長、獅子野事務長と私の 3 人で参加致しました。

まず、「障害児者施設における虐待防止の取り組みを進めよう」と題して、埼玉大学教育学部社会科教育准教授の宗澤忠雄先生の講演でした。虐待発生後の取り組みでは、虐待防止にはつながらない。肝心なことは、不適切なケア・養護から追求すること、虐待防止はハインリッヒの法則から捉えることが大切であり、施設では障害者と養護者の二者関係が熱く詰まりやすい(共依存)ので、支援の活用によって適度な距離を保つことが重要であると強調されました。当センターにおいても、日々の利用者との関わり方について振り返り、虐待が起こらない職場環境を構築していくことが必要であると感じました。

次に「地域で支える小児在宅医療」の講演は、おおぞら診療所新松戸院長前田浩利医師でした。在宅診療の中でも、がんの子ども在宅看取り数が増加していることを紹介されました。在宅緩和ケアを支える要因の第一である「生命の安全」においては、苦痛(疼痛、呼吸苦)の緩和と除去を基本に置き、第二の要素である「健康の維持」では体調の安定・体力の回復、そして第三の要素である「社会参加」においては、体験・外出・交流・家族との絆の確認が大切であると述べられました。子どもたちの死に向き合う時、命への畏敬、自分が自分自身の人生とどう向き合っているのかが問われ、とても大事なことは「死」の前で自分が無力であることを受容、同時に徹底した緩和ケアのための技術力の追求、人間の力への確信であると述べられました。「死」と向き合うことについて改めて考える機会となりました。

ミニシンポジウムでは、「重症心身障害児(者)における重大な治療方針の一定のプロセス」についてのテーマで、4 人のシンポジストの方から報告がありました。「身寄りのない重症心身障害児(者)の医療同意」「身寄りがなくなっていく重症心身障害児(者)の医療同意について DRPLA3 家系の経験から」「症例提示と、いち医師として考えること」「当園における対応—倫理委員会での検討、家族の御意向確認の仕方」でした。

シンポジウムの内容は、利用者の高齢化と重症化、親の高齢化によるこれからの重症心身障害児(者)を抱える施設での大きな課題であり、当センターにおいても、今後検討を重ね、具体的に進めていくことが重要であると痛感致しました。

今回の協議会に参加して、重症心身障害児(者)の施設が抱える問題を様々な角度から考え、より良い看護・療育活動に生かしていきたいとの思いを深めて、帰宅の途に就きました。



■ ■ 第3回テーマ別改善運動（QCサークル活動）院内発表会 ■ ■

事務部 企画係 田野倉 仁

第3回テーマ別改善運動（QCサークル活動）院内発表会が、2014年11月11日（火）に研修室で開催されました。テーマ別改善運動は、職員が自らの職場における身近な問題の解決に取り組み、職員の意識改革や職場の活性化を促すことによって、利用者さんが安心して納得できる療育サービスが受けられる環境を実現することを目的に行われています。

今年のQCサークル活動への参加は、サービス向上をテーマとする3チーム、経営改善をテーマとする2チーム、その他をテーマとする1チームの計6チームで発表が行われました。

最優秀賞は、テーマ名「時には町のレストランでコース料理を！」が受賞しました。嚥下調整食を摂取する利用者さんが町のレストランでおいしいコース料理を楽しめるよう、調理方法を提案しながら近隣のレストランに協力を仰ぎました。今後、利用者が楽しく充実した食生活を送れるように、地域連携を図っていく課題の取り組みが評価されました。

受賞者は2015年1月14日（水）に都庁第一庁舎大会議場で行われる、東京都のテーマ別改善運動合同発表会にセンター代表として参加します。

最優秀賞

「時には町のレストランでコース料理を！」

QOL向上委員会おいしい町づくり推進部会

看護科 中山照子・川原ゆかり・富山浩司

生活支援科 ◎高井直人・加藤一久・松重泰晴・村上英雄



優秀賞

「ようこそ第1病棟へ “より多くの短期利用者を受け入れる為に”」

コストカット隊

看護科 ◎林美和子

生活支援科 久野木昌黙



その他発表演題

「窓景の工夫×FISH!の哲学の取り組み」

「東大和FISH!本部」生活支援科 ◎松永正人、他

「現場発信の腰痛予防対策～腰痛アンケートを実施して～」

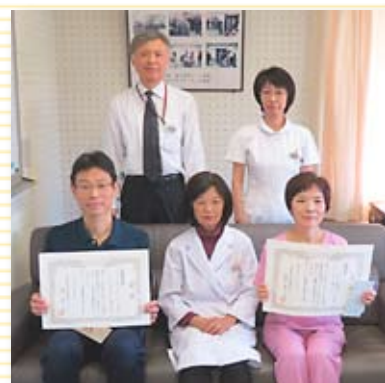
特命「TEAMメガネ」生活支援科 ◎奥野智則、他

「生化学自動分析装置の導入による業務改善」

よしみちゃんず 薬剤検査科 ◎石田彰弘、他

「診材をめぐるこんらんあれこれ」

診ちゃんチーム 事務部 ◎高藤秀丞、他



◎印が発表者

療育活動

No Music No life ! ～音楽とセンターを結ぶ架け橋～ 第 2 病棟生活支援科主任 松永 正人

当センターでは、年間を通じて様々な音楽ジャンルの方々に来て頂いて音楽活動を行っています。この場を借りて、今年度これまでに来て頂いた方々について、一部紹介させて頂きたいと思います。

<吹奏楽演奏会>

プレイルームで全病棟合同で参加している音楽会です。
両楽団共に毎年来て頂いています。もう 10 年以上のお付き合いです。

♪多摩スマイル吹奏楽団♪



以前は島田療育センター吹奏楽団として活動。2006 年から多摩スマイル吹奏楽団に名称を変更して現在活動中。「誰もが楽しめる音楽づくり」を合言葉に、多摩市を中心に療養施設、老人ホームなどの訪問演奏活動をされています。レパートリーは演歌、童謡からポップス、アニメソング等。

今回 6 月 21 日は、昭和歌謡メドレーや時代劇スペシャル、ひょっこりひょうたん島等を演奏して下さいました。指揮体験コーナーもあり、利用者の趣向に合わせた選曲で、思わず口ずさんだり、勝手に身体が動きだしてしまうようなノリのいい、アットホームな雰囲気での演奏会でした。

♪駒澤大学高等学校吹奏楽部♪



1966 年創部。「練磨は栄光への王道也」を部訓に、全国吹奏楽コンクール、学校行事での演奏、定期演奏会をはじめ、養護施設、小中学校への訪問コンサート、マーチングによるパレードなどに取り組まれています。吹奏楽コンクールでは、東京代表 2 校という狭き門であるなか、11 回にわたり全国大会に出場。金賞 5 回、銀賞 5 回、銅賞 1 回という輝かしい成績を持つ実力派。

今回 10 月 1 日は、流行を取り入れた曲目（ありのまま～ Let it go、妖怪体操第 1）や身近な楽曲（ジブリ作品）、本格的な吹奏楽曲（ブラジル）などを演奏して下さいました。顧問の先生によるお馴染みのマイクパフォーマンスで進行し、指揮者コーナー、楽器紹介と内容も盛り沢山。演奏だけではなく、生徒の皆さんのダンスや掛け声、時にはコスプレなどをふんだんに盛り込んだ、弾けるような笑顔と元気いっぱいの演奏会でした。



<アフタヌーンコンサート>

エントランスホールでの公開ライブ。

初めて施設でのコンサートにトライして下さったミュージシャンの方々。

♪ Birdsong Ayumi ♪



埼玉県出身。日本大学芸術学部を卒業。音楽、映像、絵画など様々な方面から、形式にとらわれず、自由に発信するアーティスト。ヒーリングミュージシャン。

今回8月13日のライブでは、アヴェマリア、ホールニューワールド、もののけ姫、オリジナルソング等を披露して下さいました。穏やかな伴奏の音源に合わせて、透明な澄んだ歌声が響き、まさに癒し効果抜群のライブでした。

♪ 高橋奈保子さん (ジャズボーカリスト) & 徳田真由美さん (アロマオルガニスト) ♪



高橋さん…ジャズオーケストラの専属ボーカルとしてイベントやリサイタルに出演する他、ラジオパーソナリティ、ショーシンガー、ライブハウスなど幅広い音楽活動を繰り広げています。

徳田さん…アロマセラピーの資格を持ち、音楽と香りのコラボレーションイベントやレッスンを企画、活動しています。

そんなお二人のペアによる今回8月21日のライブでは、ミスターサマータイム、夏をあきらめて、風になりたい等、こちらの要望に合わせた70～80年代ポップスを中心に、会場を巻き込みながらの楽しいライブとなりました。

<音楽療法>

各病棟デイルームでの国立音楽大学OGと現役生による音楽療法を取り入れた音楽会。季節の歌、合奏、器楽演奏の鑑賞などの内容で各棟毎月1回ずつ開催しており、今年で6年目となる活動です。



その活動の中から、10月19日に第4病棟で行われた音楽会の様子をご紹介します。

10月の音楽会は、大行事「東大和療育センターフェスティバル」の関係で、その日に実施する2つの病棟のうち1つの病棟が入浴日に変更となったため、第4病棟のみの音楽活動の日となりました。普段は次のセッションがあるため、45分間の時間厳守ですが、今回ばかりは時間を気にせずゆったりとスペシャルな音楽会がで

きるね！という運びとなりました。

秋晴れの穏やかな日曜日でしたので、いつものデイルームから病棟のテラスへと舞台を移し、6年間の中で初となる屋外でのセッションとなりました。ハロウィンが近かったので、仮装の帽子などのアイテムも使いながらのスペシャル感満載の音楽会となりました。また、普段デイルームでの音楽会への参加が難しい、ベッドにいらっしゃる利用者さんにも、病室の入口でホルンやキーボードの演奏をして頂く事もできました。こちらもハロウィン仕様で、帽子などのアイテムが登場。利用者の皆さんは、目を大きく開けたり、音の方をじっと見つめたりと、とても良いリアクションをされていました。

■ ■ センターの果てまでイッテ Q (くえすちゃん) ! ■ ■

～どんな依頼も抜群のコントロールで、ズバツときめます!! コントロール室編～

心のもやもや、すっきり解消です。20 年来ずっと抱き続けてきた疑問、「コントロール室って、一体何をコントロールしているの?」その答えは、空調のコントロールでした。えっ、皆さん既にご存知でしたか…。実は、清掃の皆さんと守衛室の皆さんも同じビル管理会社で、お仲間だったのです。ビル管理会社、略してビル管です。略すとな

ぜかかっよく響く名称ってありますね。ケアマネ (ケアマネジャー) はその典型ですが、ビル管もかなりかっこいい。ビル管理には色々な分野がありますが、当センターはたまたま 3 部門が同じ会社だったというわけです。組織的には、用度係の統括下になります。

では早速、くえすちゃん! 「コントロール室のお仕事範囲は、とーっても広いですが…、何でもできちゃうんですか?」「基本的に建物、設備に関することの全てが守備範囲です」な一なるほど、空調だけでなく、電気や水道も設備ですからね。だから蛍光灯 1 本切れただけでも、すぐに飛んできてくれるんですね。納得です。メンバーの皆さんが持っている資格も「電気主任技術者」「危険物取扱主任者」「ボイラー技士」と、柔和な面持ちとは逆に難解で、危険な匂いのするものばかり。そんな資格を最低でも 3 つくらいは、皆さんお持ちなのです。

現在は、男性ばかり 8 名のメンバーですが、もちろん女性も OK。近い将来にはカラフルなユニフォームの女性メンバーが加わるなんてこともあるかもしれません。8 名の内 5 名が夜勤 (夕方 5 時から翌朝 8 時まで) をしていて、他の 3 名は日勤 (朝 8 時から夕方 5 時まで) 中心だとか。昼間は 4 名、夕方 5 時から夜 9 時までは 2 名、夜 9 時から朝 8 時まででは夜勤 1 名体制とのこと。保守をしながらも、緊急事態にすぐ対応できるよう待機しているのです。さらに待機時間には専門業務の知識を深める勉強をする時もあるとうかがっては、自分も負けずにチャレンジし続けねばと気が引き締まります。

ではいよいよ内部に進入します。ボイラー室、電気室、自家発電機室、消火栓室…それにしても音が大きい。よく観察すると、給湯器も蒸気ボイラーも 2 機ずつある……なぜだ? 「病院だから、何があってもゼロにするわけにはいかない。1 機が故障しても、残りの 1 機で半分だけでも供給できるようにしておかないといけないんです」いわゆる「リスク分散」ですね。リスクマネジメントの基本がセンターの地下にあったなんて、灯台下暗しでした。 (報告: そよ風調査隊員 No.3 あっしー)

東大和療育センターには、地下 1 階から 2 階まで様々な部署があります。挨拶は交わすものの、実はどんな仕事をどんな風に行っているのか、以外と知られていない部署も多いのでは?

3 回にわたって、東大和療育センターの隅々に飛んでレポートする、新企画! の第 2 報



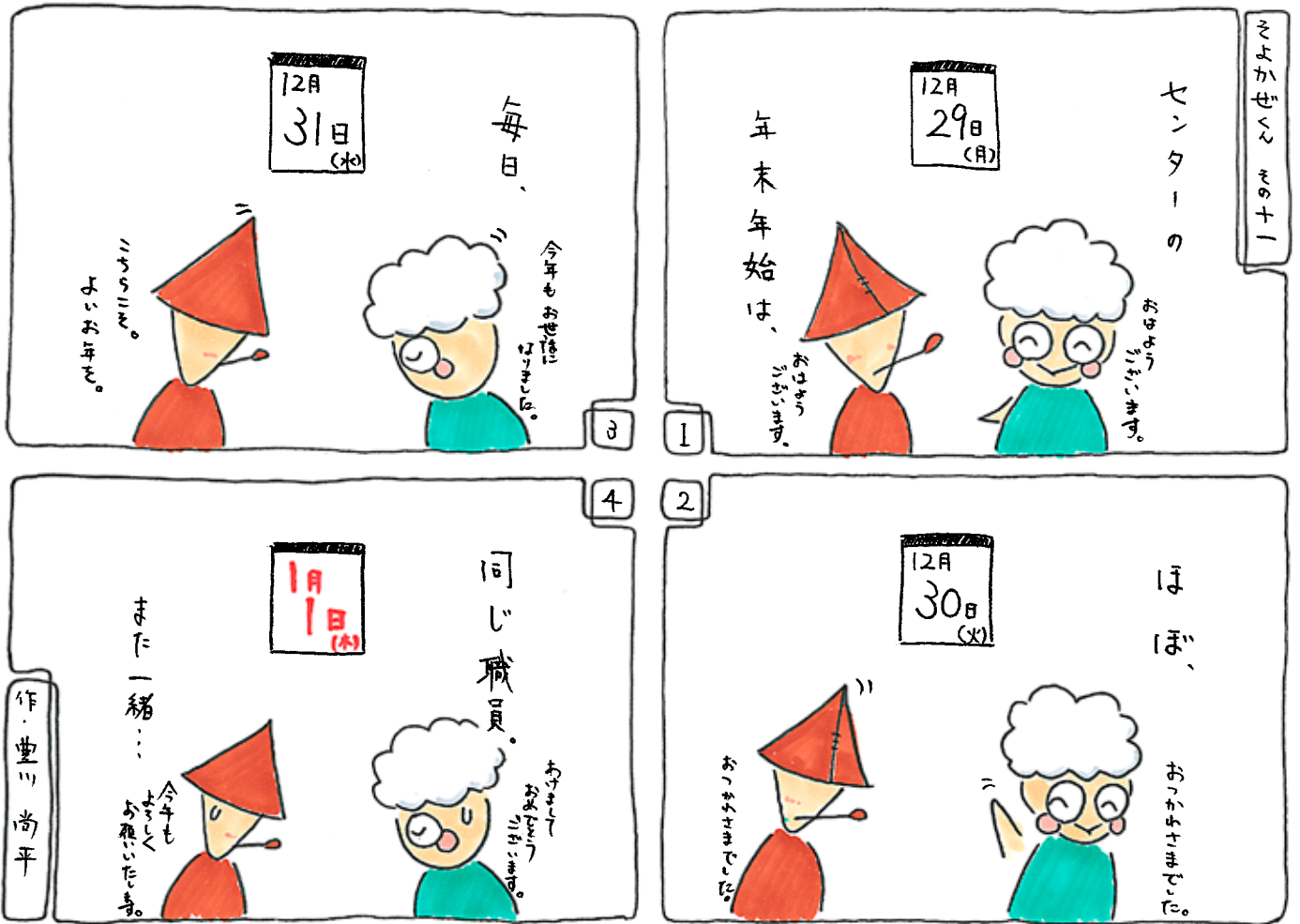
栄 養 科 ハロウィン 献 立



カレーライス	1人あたり数量	作り方
全粥	200g	お粥にサフラン粉末・コンソメを入れ味を整える。そこにスベラカーゼの粉末を入れミキサーで攪拌し冷蔵庫で冷やす。 【顔】 ほうれん草を茹でて水と一緒にミキサーで回す。とろみ剤でとろみをつける。しぼり袋に入れて固まったスベラカーゼ粥に顔を書く。 【ルー】 にんにく、鶏もも肉を炒める。ボイルした南瓜、玉葱を入れ水を入れてあくを取る。カレールーを入れてケチャップ、ソースで味をととのえる。トロミがつくまで煮る。出来上がったカレーをミキサーで回し、とろみ剤を入れる。 【星人参】 人参をボイルする。やわらかくなったらコンソメだしと一緒にミキサーで回す。スベラカーゼ 2% (100 ml でスベラカーゼ 2 g) を入れ鍋で沸騰させ、平たい容器にいれ冷し固める。固まったら、クッキー型で型を抜く。
サフラン粉末	0.01g	
コンソメ	小さじ 1/2	
スベラカーゼ	3.2g	
【顔】		
ほうれん草	20g	
とろみ剤	少々	
【ルー】		
コンソメ	小さじ 1	
鳥もも皮なし	30g	
南瓜	30g	
玉葱	30g	
にんにくおろし	少々	
食塩	少々	
サラダ油	小さじ 1/2	
カレールー	20g	
トマトケチャップ	小さじ 1	
ウスターソース	小さじ 1	
【星人参】		
人参	30g	
とろみ剤	少々	

カラフルサラダ	1人あたり数量	作り方	
ブロッコリー	40g	ブロッコリー、カリフラワーをボイルする。各々マヨネーズであえて塩で味を付ける。それぞれコンソメだし汁と一緒にミキサーにかけ、とろみ剤でトロミを付ける。トマトジュース 1 缶 100 g にとろみ剤を入れて混ぜる。	
カリフラワー	40g		
食塩	少々		
コンソメ	小さじ 1		
トマトジュース	100g		
ハーフマヨネーズ	小さじ 2		
とろみ剤	少々		
パンプキンプリン	1人あたり数量		南瓜を電子レンジでチンして、50 ml の水と一緒にミキサーで回し (ザルでこす) 卵、卵黄、グラニュー糖をボウルに入れて混ぜる。そこに弱火で温めた牛乳、生クリームを入れて、ペースト状にした南瓜を加えて混ぜる。カラメルが入った容器に流し入れパッドに並べる。パットに熱湯をそそぎ 150℃ のオーブンで 35 分焼く。焼きあがったらミキサーでまわして器に入れる 【カラメルソース】 グラニュー糖と水を鍋に入れて弱めの中火にかける。飴色になったら型に流し込む。
南瓜	50g		
卵	1 個半		
卵黄	2/1 個分		
グラニュー糖	大さじ 1		
牛乳	150mg		
生クリーム	25mg		
【カラメルソース】			
グラニュー糖	大さじ 1		
水	小さじ 1		





//////////////////// お詫び //////////////////////
 当センターにおいて、平成 26 年 12 月 14 日午後から 15 日朝にかけて、施設に入所されている方々にノロウイルスによる集団感染が発生しました。このような事態を招きましたことを深くお詫び申し上げます。
 全職員が一丸となり、発生患者の治療に全力で当たるとともに、二次感染予防を継続し拡大防止に努めた結果、重症者はなく、患者も治癒または回復傾向にあります。
 今後、職員の再教育を行うとともに、より厳重な感染対策、衛生管理を徹底し、再発防止に万全を期す所存であります。
 //////////////////////



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

編集後記

あけましておめでとうございます。新年の挨拶、暮れの行事の紹介など通常のページ数よりも増量してお届けした「そよ風」新年号、お楽しみいただけたのではないのでしょうか。さて、昨年は出会いと別れに色々と考えさせられる一年でした。この一年も人と人との関わりを大切にしていきたいと思います。(MN)

そよ風第 79 号

編集 院内報そよ風編集委員会
 発行日 平成 27 年 1 月 15 日
 発行 東京都立東大和療育センター
 東京都東大和市桜が丘 3 - 44 - 10
 ☎ 042-567-0222
 印刷 有限会社 はじめ印刷
 ☎ 042-560-3031